



V
男声合唱組曲
「富士山」

作品第壹
作品第肆
作品第陸
作品第捌
作品第拾壹 (宇宙線富士)

作詞
草野 心平
作曲
多田 武彦
指揮
北村 協一

組曲「富士山」について

第52回リサイタルおめでとうございます。また、今宵は、私の拙い作品である「富士山」を採りあげていただき、厚く御礼申し上げます。

この組曲は、私の処女作「柳河風俗詩」に次いで出来た2番目の作品ですが、これが出来た昭和31年頃は、難曲とされていました。しかし、この頃ではみんな楽々と歌いこなしておられ、ようやく、この組曲の持つ雄大さが、安心して聴くことが出来るようになって来ました。

またこの組曲は、その雄大さのためか、よく合同演奏曲として採りあげられる機会が多くなってきましたが、一つの団体に、150名ものメンバーによって、統一された発声や音色で歌われるのは、今回が初めてではないかと思えます。

長い歴史と伝統に培われた関西学院グリークラブは、今年度も引続き安定した力量と、卓絶した技術を以て、数多くの名演奏をきかせてくれています。このメンバー達とますます磨きのかかった北村先生の指揮で歌われる「富士山」は、さぞかしすばらしいステージを飾ることになるだろうと思えます。

折しも、今年度、詩人の草野心平先生が、文化功労章を受賞されました。関西の夜空を伝ってこの組曲の力強いサウンドが、富士山を超え、関東の所沢市秋津の草野先生のお宅に殷殷と鳴りひびくことでしょう。

演奏会のご成功と、今後ますますのご発展を心からお願いいたします。

多田武彦